

娘キツネは「ギャー」「ギャー」と大きな悲鳴をあげて  
山の中へ逃げてゆきました。

しっぽがなくなったキツネは、その後は、バケることも  
できず、仲間からも のけものにされて とうとう獺師の  
鉄砲にうたれてしまいました。

